

事例 11 市町村林務担当職員への出前講座の実施

(東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署)



- 秋田県雄勝郡羽後町 上桧山国有林
- 輪尺を用いた胸高直径測定
(令和 6(2024)年 6 月)



- 秋田県湯沢市 小安奥山国有林
- 丸太の品質に関する講義
(令和 6(2024)年 10 月)

森林経営管理制度の運用など森林・林業行政における市町村の役割が益々大きくなっています。

秋田森林管理署湯沢支署では、羽後町からの依頼を受けて、林務担当職員にとって必要となる森林・林業行政に関する知識の習得や技術の向上に貢献するため、同町職員を対象とした出前講座を実施しました。

講座については、町職員の負担も考慮して、令和 6(2024)年 5 月～12 月に月 1 回、半日程度を目安に開催し、立木調査や測量に関する講義、素材生産現場や木材市場の視察など、森林資源の調査から丸太の販売まで一連の流れを知ることができる内容としました。

受講者からは、「森林管理の実際の現場を体感でき、民有林行政を進めるに当たり大変参考になった」との声があり、同支署にとっても、受講者との意見交換等を通じて、市町村が抱える課題等を理解する機会となりました。

同支署では、出前講座の取組を管内の他市町村へも拡大することとしており、引き続き、地方公共団体と連携し、地域の課題解決に向けて取り組んでいきます。